



題字 原田 親

No. 1009

2023/11/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区浅草橋5-3-5
日中ビル5F
電話 03(5829)2146(代)
FAX 03(5829)2141
http://www.jica-net.jp
E-mail:nicchuoka@jica-net.jp
社印 50113-1-2178

日中友好協会
岡山支部
〒712-8034
岡山市北区下伊福
西町1-53 民主会館1F
TEL: FAX 0861 254-1804

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福河町東32461-45
TEL: FAX 0861 411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp



ついに第100期あかるい兆し！

岡山支部太極拳講習会は、1980年から普及を始めて10月4日に第100期を迎えました。

コロナ禍、中国の不人気や会場が郊外で目立たなかったこともあり、このところの参加者数が伸び悩んでいましたが、市街地の天神山文化プラザが使えるようになり、今期の体験者は5名！新規受講生が増えそうです。

そして記念Tシャツも完成しました。卯年なので「陰陽兎図」をデザインしました。デザインは、15周年に「太極拳」の文字を陰陽図にはめ込んだTシャツをデザインしてくれた、受講生でガラス作家の有松啓介さんです。みんなの意見を聞きながら、何度もデザイン案を描いてくれました。そして、背中には幾何学的な「日中」の文字もプリント、大勢で太極拳を表演すると背中の「日中」が、バエます！

来年の3月23日24日には、このTシャツ付きの第100期記念合宿も企画しています。過去に太極拳講習会に参加していたみなさんも、講習会を覗いてみてください。

木(ま)まで

日中友好協会太極拳本部指導員

青木正美



背中に「日中」



15周年記念Tシャツ

9月18日、柳条湖事件

92周年宣伝

9人の参加で 日中友好倉敷支部

大本芳子

92歳の栗本泰治支部長を先頭に頑張りました。私たち日中友好協会は、アジアの人々に対する加害と侵略戦争の真実を多くの人々に伝え、日中不再戦は憲法9条を生かす道」の立場で「改憲阻止全国緊急署名」に取り組んでいます。日本と中国、世界平和友好のため

めこれから運動を続けてまいります。平和憲法を守り生かし平和な日本を！



人生いつでも勉強ですね！

貝吹佳代子

今、芳田日本語教室で、「動詞」の勉強をしています。

先日、「(一)(時)〜」という文を作る宿題を出しました。今週、益田聖子さんから、授業が終わるとき「これを読んでください」と原稿を渡されました。

それはとても素敵な文章で感動しました。ぜひみなさまにも読んでいただきたく、日中新聞おこやま」に載せることにしました。

料理は学問であり

料理は学問であり、楽しみでもあります。

美味しい料理を作ることは他人に楽しんでもらうだけでなく、自分も満足と喜びを得ることが出来ます。だから私は料理を作ることが好きです。

中国にいるとき、休みの日、祝日になるとみんなで一緒に食事をしたとき、美味しい料理をたくさん作りました。でも私の姑とめは中国料理があまり作れないから、祝日には普段のシチュ―も食べます。私が来たら肉の醤油煮(红烧煮)(hóng shāo zhǔ)魚の汁架け(浇汁鱼)(jiāo zhī yú) 醉豚など中国伝統料理といういろいろな炒め物を作りました。

褒め言葉を聞かされたときに、心から感動と満足感がありました。疲れてもうれしい。日本に来てから、テレビでよく日本料理を習いました。例えば、おでん、鍋、カレーなど、そして、日本語講座の先生と肉じゃが、お好み焼きとお寿司もべんきょうしました。時々娘たちにつつて食べさせて美味しいと言います。

料理を作るのは本当に面白いことです。年をとっても勉強しなければなりません。

帰国者二世の配偶者 益田聖子

(2023年10月12日)



益田聖子さん

敬老会&運動会

小規模多機能ろうじんホームいほりでは、朝夕少し涼しさを感じるようになった9月18日、初めての敬老会&運動会が開催されました。

挨拶の後、スタッフのユーモラスな寸劇の名演技に拍手喝采、どっと笑い声が沸き起こりました。社長のカラオケから利用者さんも歌ったり踊ったり、二胡の素晴らしい音色が心に染みしました。ストレッチで少し身体をほぐしてから第二部の運動会スタート。

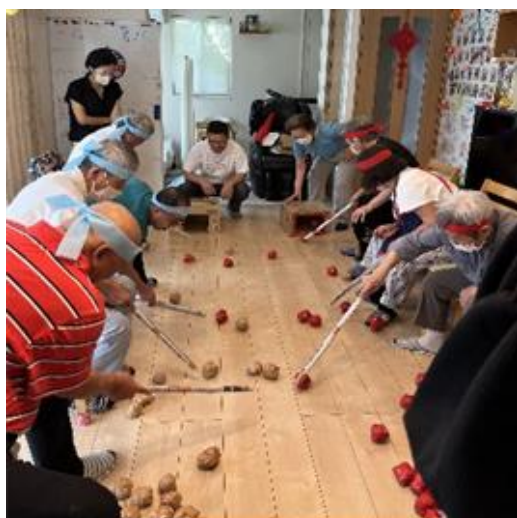
まずは牛乳パックタワー積み、真剣そのもの倒れては歓声が沸き起こりました。ステッキではあっさり倒れてしまったり、最後の二本まで早々と抜き取って完成させたりと、集中して取り組まれました。

ほんのり甘さが美味しい手作りちまきでティータイム。

個人戦の射的、的に当たったり、当たらなかつたり、そのたびに大盛り上がり。

次は玉入れ競技3連発、いくつ入ってるかな？みんなで数え、僅差で勝負が決まり、ますます盛り上がりしました。

最後はパン食い競争。皆さんしっかり大きな口を開けて、パンをゲットされていました。



結果発表、赤チーム優勝、金メダル。青チーム銀メダル。笑い声が絶えることなく、あつという間に運動会が終わりました。最後にみんなで集合写真、身体も心もほかほか温かくなったひとときとなりました。

ありがとうございました。
井堀

私の引揚体験（その6）

倉敷9条の会 会員 朝倉 彰子

11. 自分探しの旅

2007年8月、思いがけず私は中国東北部(旧満州)撫順市を訪れることができました。「岡山県龍爪開拓団の足跡を訪ねて、日中友好をはかる旅」に同行させてもらったことでした。

撫順駅は戦前の姿を留めていました。姉や兄が通った女学校、中学校も少し姿を変えてはいましたが壊されることなく残っていました。住んでいた家はありませんが、家のあった場所に立つことができました。「日本」という字に作られている撫順の街。日本が中国を侵略した事実を、街は歴然と物語っていました。

千金牧場の跡地にはアパートが立ちならび、牧場の面影は全くありませんでした。千金牧場は私たちが街へ越してから、撫順で亡くなった日本人の埋葬の場所になったということ、この旅をする中で知りました。牧場跡からはおびただしい人骨

牧場の近くにあった平頂山村では1932年、日本軍による大虐殺があり、生存者による裁判が長く続けられました。
現在、徴用工の裁判をめぐる、解決の糸口が見えないとマスコミなどで伝えられていますが、歴史の真実をなかつたことに

次回の新聞送付作業は
11月13日(月)午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。
真田 竹内

したい政治家の言動が解決を難しくしています。

12. 治安維持法賠償同盟の国連要請行動に参加して

1999年、治安維持法賠償同盟の第3回国連要請行動に参加しジュネーブの欧州国連本部人権小委員会で私が学んだことは「国同士が和解しても、個人が賠償を請求する権利は消滅しない」と。

治安維持法で日本や朝鮮・韓国の平和を願う人たちを弾圧し、いまだに謝罪も賠償もしない日本国政府が続く限り、あの戦争はまだ終わりません。

13. おわりに

第2次世界大戦の死者数は、戦死、餓死、病死を含め6000万人から8000万人、アジアでは3000万人、日本人の死者は310万人とされています。

戦後77年を過ぎ、加害に加担させられた人を含め、あの悲惨な戦争を体験した人は残り少なくなっています。

今日本では、学問の自由がおびやかされ、戦前の暗黒の時代に戻りつつあるようです

ほんの少しだけではありますが、あのアジア太平洋戦争を体験した最後の世代として、私の体験をお話させていただきました。

ありがとうございました。

おわり